第三講・説明的文章①

◆指示語

指示語とは、「これ・そこ・あの・どっち」などの、物事を指し示すことばで、「こそあどことば」ともいいます。

(1) 指示語の指示内容のとらえ方

指示語の指示内容は、ふつう指示語の前にあります。指示語に近いところから順に前にもどりながらさがしましょう。

(2) 指示語に置きかえられる形にする

ことばの終わりを変えるなどして、指示語にあてはめて文の意味が通じるような形に整える必要がある場合もあります。

◆接続語

接続語とは、語句と語句、文と文、段落と段落などをつなぎ、その関係や意味のつながりを示すことばです。

1 前の内容があとの原因・理由となる（順接）
…だから・すると・したがって・それで・そこで　など

2 前後の内容が逆になる（逆接）
…しかし・でも・ところが　など

3 前の内容にあとの内容を並べたり、付け加えたりする（並立・累加）
…そして・また・さらに・そのうえ　など

4 前後の内容を比べたり、どちらかを選んだりする（対比・選択）
…それとも・または・あるいは　など

5 前の内容に説明や補いをする（説明）
…つまり・なぜなら　など

6 前と話題を変える（転換）
…さて・ところで・では　など

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

わたしはニューファンドランドを抱き、指をすべらせて体を調べた。

頭を除いた犬の体は、おおざっぱに二つの部分にわけられる。前半身と後半身だ。後半身には腸や肝臓などがしまわれている。前半身には何本ものろっ骨に守られて肺がある。

胸が厚くて、肺の部分が大きいのである。なるほど、①だから浮くのかと納得した。

②泳いでいる犬を追いかけ、わたしはもぐり、水の中からながめてみた。と、これまた予想とはまったくちがっていた。

体がななめになっているのである。

人だと、体はまっすぐ後ろに伸ばしている。伸ばしておいて、足をばたつかせたり、かえるみたいに動かしたりして推進力を得ている。（　Ａ　）、犬の場合、体の後ろ半分は深く沈んでいて、後ろ足を交互に動かして前へと進んでいた。

水難救助犬として、水に浮かんで仕事をするために、［　　］が大きな役割をはたしているのが＊1一目りょうぜんだった。

近づいて、体にふれてみた。（　Ｂ　）、わたしの指がふれたところから空気の泡が飛びだし、銀色に光りながら上にのぼっていった。

「ああ、そうか。」

またまた＊2目からウロコが落ちた。

ニューファンドランドは、寒い北の島で誕生した品種だ。下毛は長く、しかも密生している。彼らは③そこに、空気をもっているはずである。空気の層を着て泳ぐ――人の＊3ウェットスーツと同じ原理であり、保温と同じに＊4浮力を得るのに役立っている。うまくしたものだ。毛は、防寒、防水の役目をはたし、水に入った際には浮力をくわえるウェットスーツにもなっている。

ここでまた、もう一つつけくわえておかねばならない。温度が四十度以上になる砂漠で暮らす人たち

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

は、暑いからといって裸で生活してはいない。砂漠の民は、頭から足先までを白い布ですっぽりおおっている。

わたしは砂漠へ行き、彼らとラクダで旅をしてみた。ものすごい暑さだった。目もくらむというはげしさの表現があるけれども、ものの十分ほど外にいると、暑さに負けて意識を失いそうになった。

外に鉄板を置いておけば、④その上で目玉焼きができる。

直射日光は、すべてのものを焼きつくすほどの強さだ。⑤それをふせぐのが衣服である。寒さから人を守ってくれるものは、暑さからも守ってくれるわけだ。

（　Ｃ　）毛は、虫よけとしてもすぐれている。

野山には、血を吸いにくる蚊がいる。

わたしは一年間、無人島で秋田犬をふくむ五匹の犬と住んでいたことがある。

夏、彼らと外で寝たりした。

犬はまず、寝場所をさがす。あちこちうろつき、ここぞという場所をクンクンかぎはじめるのである。やがて、まえ足でせっせと⑥そこを引っかきはじめる。枯れ草や枯れたいばらなどが後ろにほうり投げられる。犬は、かなりしつこくそうじした後で、ここにぴたりと腹をつけて丸くなった。

（畑正憲『犬　イヌはぼくらの友だちだ』）

＊１一目りょうぜん＝ひと目見ただけではっきりわかること。

＊２目からウロコが落ちる＝今までよくわからなかったことが、何かのきっかけでとつ然よくわかるようになること。

＊３ウェットスーツ＝水の中にもぐるときに着る服の一つ。

＊４浮力＝液体や気体が、その中にあるほかの物体を浮き上がらせようとする力。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　（　）Ａ〜Ｃにあてはまることばとして最も適当なものを次のうちから選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア　そして　**イ**　すると
ウ　つまり　**エ**　ところが

Ａ［　］　Ｂ［　］　Ｃ［　］

問二　――線①「だから浮くのかと納得した」のは、ニューファンドランドの体がどうなっているからですか。「〜から。」につながる八字のことばを文中から書きぬきなさい。

［　　　　　　　　］から。

問三　――線②「泳いでいる犬」を水の中からながめてみるとどんな様子だったのですか。人と比べてまとめた次の表にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

	人	犬
体の様子	体は 1［　　］に伸ばしている。	体の後ろ半分は 3［　　］いる。
進むための足の動かし方	ばたつかせたり、2［　　］に動かしたりしている。	後ろ足を 4［　　］動かしている。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　□にあてはまることばとして最も適当なものを漢字一字でぬき出しなさい。

□

問五　――線③「そこ」の指す内容になるように、次の□にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

長い□□が、□□□□いるところ

問六　――線④「その」、⑤「それ」の指すものとして最も適当なものを次のうちから選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア　砂漠　　イ　ラクダ　　ウ　鉄板
エ　目玉焼き　　オ　直射日光

④□　⑤□

問七　――線⑥「そこ」の指す内容になるように、次の□にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

□□□□として□□□□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問八　筆者は、犬の毛はどんな役目をしていると言っていますか。適当でないものを次のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　寒さだけでなく、暑さからも身を守るはたらきをする。

イ　水の中に入ったときに、速く泳げるようにする。

ウ　防水のはたらきや、浮力を得るはたらきをする。

エ　血を吸いにくる蚊などの虫よけになる。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　説明的文章①

一題目

問一　A　エ
B　イ
C　ア
問二　肺の部分が大きい（から。）
問三　1　まっすぐ後ろ
2　かえるみたい
3　深く沈んで
4　交互に
問四　肺
問五　下毛・密生して
問六　④　ウ
⑤　オ
問七　寝場所・ここぞという場所
問八　イ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。